



■仕事内容

東群馬信用組合とかみつけ信用組合の合併で誕生した、ぐんまみらい信用組合（高崎市田町）は県内全域と埼玉県の一部をカバーする。「地域と共に」「健全経営・体質強化」「魅力ある人材作り」を経営方針に掲げ、地域に根差す金融機関として中小企業や住民に顔の見えるきめ細かなサービスを提供。今年秋に合併10年の節目を迎える。

地域の企業 最善を提案

(27)は主に法人客を担当する。太田という土地柄、取引先の多くは自動車関連の製造業者だ。コロナ禍で資金繰りに苦戦する企業は珍しくなく、融資や補助金活用などの支援に奔走する。行政機関に自ら問い合わせて情報を集め、頭の中を常にアップデートするよう心掛けているという。

「『助かったよ』と言ってもらえるとうれしい。尊敬する先輩のように。尊敬する先輩のように。」



「積極的な提案型営業を心掛けたい」と話す脇坂さん

■キャリアアップ

1年目は研修期間との位置付けだ。入組後の2カ月でビジネスマナーや金融取引の基礎などを学び、6月1日付で支店に配属される。その後は年度末まで預金、融資、営業といった各業務をOJT（実務研修）で覚える。

に長期的視野に立ち、相手にとつての最善を提案できる金融マンになりたい」と力を込める。

脇坂さんの1日

- 6:30 起床
- 7:00 朝食を取りながらニュースチェックなど
- 8:20 出勤
- 8:30 始業
- 8:40 朝礼。1日の予定などを打ち合わせ
- 9:00 外回りへ。ミニバイクで10件ほど回る
- 12:30 支店に戻ってランチ。取引先の店で食べることも
- 13:30 午後の業務開始。再び外回りに出て5件ほど回る
- 15:00 支店に戻り、融資の稟議書や日報などを書く
- 17:30 退勤。残業はほぼしない
- 18:00 帰宅
- 19:00 夕食
- 20:00 資格勉強や趣味の筋トレなどをする
- 23:00 就寝

異動周期は3〜5年ほど。昇格するためには、信用組合職務能力検定や

融機関を中心に就職活動

脇坂さんは、県内の金融能力をPRした。後輩へのアドバイスとして、「先

■就活ポイント

わきさか・りょうすけ
1994年7月生まれ。伊勢崎市（旧境町）出身。県立伊勢崎高一高崎経済大卒。2017年4月に入組し、間もなく尾島支店に配属。同年秋から営業担当

銀行業務検定といった検定で合格することが求められる。近年、コンサルティング業務にも注力する。人事交流として中堅職員を県事業承継・引継ぎ支援センターなどの機関に派遣・出向させている。

面接では、アルバイトや柔道で培った継続する力やコミュニケーション能力をPRした。後輩へのアドバイスとして、「先

行きが見通せない世の中になり、自分の考えで行動できる人材がますます必要になってくる。自分自身もそうなるよう努力している」と語った。（寺島努）

企業データ

▷設立	1953年
▷従業員数（2021年3月末）	262人
▷預金量（同）	3038億400万円
▷新卒採用数（22年4月見込み）	8人
▷初任給（21年4月実績）	大学院卒・大卒 20万円
	短大卒 17万円